

令和3年中に国民年金や厚生年金を受け取られた方に、年金の金額や源泉徴収された所得税額などをお知らせする「令和3年分公的年金等の源泉徴収票」が、日本年金機構より1月中旬に発送されました。源泉徴収票は、所得税の確定申告の際に必要となりますので大切に保管してください。万が一、源泉徴収票を紛失してしまった場合は次の方法で再交付の申請ができます。

### ●電話での再交付申請

お手元に基礎年金番号がわかるものを用意し、年金ダイヤルへご連絡ください。2週間ほどで日本年金機構から郵送されます。

年金ダイヤル ☎0570-051-165(050で始まる電話でおかけになる場合 ☎03-6700-1165)

### ●「ねんきんネット」による再交付申請

パソコンやスマートフォンを使って、ねんきんネットから再交付申請をすることができます。1週間ほどで日本年金機構から郵送されます。

ご利用には、ねんきんネットのIDが必要です。IDをお持ちでない場合は、ねんきんネットから登録をお願いします。詳しいお問い合わせは、

ナビダイヤル ☎0570-058-555(050から始まる電話でおかけになる場合 ☎03-6700-1144)

\*\*\*ご注意ください\*\*\*

厚生労働省、日本年金機構または市区町村の職員を名乗る「なりすまし」が発生しています。日本年金機構職員などが電話により口座番号、暗証番号、マイナンバーなどをお聞きすることはありません。「なりすまし」による被害にご注意ください。

岡崎阜南年金事務所 ☎273-6161 / 住民課 ☎388-1115

## 教育委員会だより あったかい言葉を通して、あったかい学校、あったかい地域に

羽島郡二町教育委員会 ☎245-1133

「はなれていてもずっと好きだよ」、「自分のペースでやればいいんだよ」、「ありがとう。そういうやさしいところ大好き。」、「偉いね、すごいね、お疲れ様」-これらは昨年度の「あったかい言葉かけ県民運動」岐阜地区代表作品ポスターに紹介された言葉の一部です。

この「あったかい言葉かけ県民運動」は、平成19年度にスタートし、「いじめをしない!させない!許さない!」をキーワードに、互いに「あったかい言葉」をかけ合い、思いやりあふれる温かい関係を地域社会において創り出すことで、学校におけるいじめの未然防止を目的に行われています。

本年度も、羽島郡二町で作品を募集したところ、全小中学校から、保護者や地域の方の作品も含めて、合計3,787点の応募がありました。応募票には、言葉とともに、その言葉にまつわるエピソードが添えられています。羽島郡二町に応募された作品を紹介します。

### 「いっしょにあそぼう」

一人であそんでいたら友だちに「いっしょにあそぼう。」と声をかけられた。一人だったから声をかけられてうれしかった。一人でできないおにごっこができてとても楽しかった。声をかけられてうれしかったからわたしも声をかけてあげたい。

### 「産まれてきてくれてありがとう」

ほくのお母さんはいつもねる時に「産まれてきてくれてありがとう」と言ってくれます。この言葉を何回言われたかは覚えていません。でも言ってもらえると、すごくうれしいです。「お母さん、ほくを産んでくれてありがとう」

あったかい言葉をかけられたときの喜びが伝わってくるエピソードです。こうしたエピソードにふれると私たちも心があたたまります。

このような心に響くあったかい言葉がいっぱいで、あったかい学校や家庭、地域づくりにつながるよう、今日も明るく元気に「おはよう」、素直な気持ちで「ありがとう」「うれしかったよ」-きっと素敵な一日になります。